

令和 5 年度実績概要

1 令和5年度実績概要

令和5年度は、新型コロナウイルスの影響が残っていた令和4年と比較し、更に観光客数が回復に向かった1年となりました。

令和4年6月10日に観光目的の外国人の入国受け入れが再開されたことにより、JNTOが発表した令和5年訪日外客数は前年比+約554.1%と前年を大きく上回りました。

今後も観光客数とインバウンド消費の拡大が想定される一方で、一部の観光地では、多くの観光客が訪れることによる、混雑やマナーの悪化など市民生活へ影響が現れています。これは鎌倉市においても例外ではなく、市民生活と観光振興の両立は「第3期鎌倉市観光基本計画」の施策としても位置づけています。

令和5年度は、混雑等の課題解決のため、鎌倉の新たな魅力の発信や鎌倉観光混雑マップの公開を通じて、時間、場所等の分散化に努めました。

引き続き「成熟した観光都市鎌倉」を目指すための取り組みを進めていきます。

目標Ⅰ「歴史、文化、自然、景観といった様々な遺産を保存・継承しつつ、知られざる鎌倉の魅力や価値を掘り起し、新たな観光資源として発展・向上させます。」

目標Ⅱ「成熟した観光都市としての鎌倉に市民が誇りや郷土愛を感じつつ、安心して穏やかに暮らせるまちをつくります。」

目標Ⅲ「誰もが安全で快適につつがなく鎌倉で学び楽しめるように、観光客を受け入れます。」

目標Ⅳ「観光の振興を地域の活性化につなげます。」

鎌倉の持つ様々な魅力や価値が世界に誇る貴重な財産であることを認識し、観光に携わるあらゆる主体が連携・協力して、誰もが「住んでよかった、訪れてよかった」と思える成熟した観光都市を目指します。

目標Ⅰ「歴史、文化、自然、景観といった様々な遺産を保存・継承しつつ、知られざる鎌倉の魅力や価値を掘り起し、新たな観光資源として発展・向上させます。」

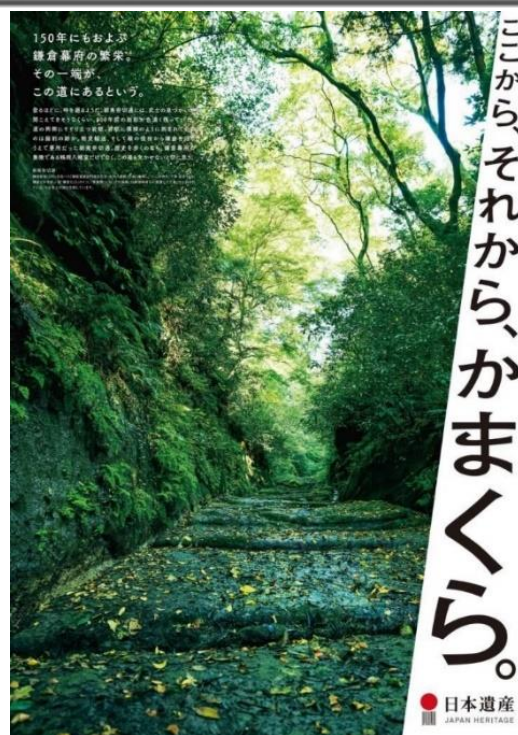
目標Ⅰは、鎌倉の持つ歴史的・文化的遺産や、美しい自然景観の保持に努めつつ、それらを観光資源として発展及び向上させることを目標としています。

令和5年度は、引き続き鎌倉花火大会は中止となったものの、鎌倉まつりは「流鏑馬」のみを4年ぶりに実施、鎌倉薪能は5年ぶりに特設舞台を設置し有観客で開催されました。

また、日本遺産魅力発信推進事業として、日本遺産マップ・ポスターの新規作成、シンポジウムの開催、鎌倉駅東口広場への案内看板の設置、駅構内における懸垂幕・横断幕の掲揚等を行い、日本遺産をテーマとした知られざる鎌倉の魅力発信を行いました。



JR 鎌倉駅東口広場の案内看板



日本遺産ポスター

目標Ⅱ「成熟した観光都市としての鎌倉に市民が誇りや郷土愛を感じつつ、安心して穏やかに暮らせるまちをつくります。」

目標Ⅱは、市民生活と観光振興の両立を図り、市民の観光に対する理解を向上させることで、成熟した観光都市鎌倉をつくりあげることが目標としています。

誰でも安全・安心、快適に過ごせる海水浴場の開設のため、来訪者の安全対策としてライフセーバーによる海岸監視、風紀維持のための警備員によるパトロール等を行い、海の日には津波避難訓練も実施しました。

令和5年度からは、海水浴場においてソフトボードなどの遊具が使用できるエリアを新設するとともに、利便性向上と周辺の安全確保のため、3海水浴場内に自転車等駐車場の設置も行いました。



由比ガ浜海水浴場



ソフトボードエリア

目標Ⅲ「誰もが安全で快適につつがなく鎌倉で学び楽しめるように、観光客を受け入れます。」

目標Ⅲは、観光の形態や属性に関わらず、観光客の誰もが鎌倉の観光に対して高い満足感を抱き、安全で快適な環境のもと鎌倉の魅力や価値を学び楽しむことができることを目標としています。

令和元年の台風の影響で大きな被害を受け通行止めとしていた祇園山ハイキングコースの復旧等が完了し、令和5年4月1日から通行を再開しました。

これによって鎌倉市が紹介している葛原が岡・大仏、天園、祇園山の3つのハイキングコースが全コース開通し、公益財団法人鎌倉風致保存会との協働事業として実施しているハイキングコースパトロール事業での詳細な情報取得や情報提供も可能になりました。

また、小中学校向けに作成している「かまくら課外授業ガイド」では、日本遺産「いざ、鎌倉」のストーリーを通して鎌倉のまちの通史を学べるよう「日本遺産のまち鎌倉のおはなし」ページを追加しました。



祇園山ハイキングコース



かまくら課外授業ガイド

目標Ⅳ「観光の振興を地域の活性化につなげます。」

目標Ⅳは、観光の振興や観光産業に携わっている民間事業者や関係団体が、その活動にやりがいを感じ活躍することができる地域社会の生成を目標としており、「歩く観光」「泊まる観光」を推進することでより多角的な観光消費の拡大を目指しています。

歩く観光の推進を目指し作成している「ぶらり鎌倉マップ」については、これまで「長谷、由比ヶ浜」、「二階堂、浄明寺」、「北鎌倉、常盤、梶原」の3種類を配布していましたが、令和5年度は「大船、玉縄」を新たに作成し、計4種類を配布しました。

また、鎌倉の海の素晴らしさを再認識し、鎌倉の新たな魅力を発信することにより、観光振興、地域活性化に繋げる事業として「鎌倉ビーチフェスタ」が開催されました。



ぶらり鎌倉マップ（大船、玉縄）



鎌倉ビーチフェスタ